

今後の地域科学技術クラスターPTの運営方針について(概要)

平成19年10月25日

地域科学技術クラスターPT事務局

1. PT運営方針の概要

本年7月には第1回の PT を開催し、平成20年度概算要求に向けた取組について各府省からヒアリング等を行いました。今後、第2回目以降の PT では、招聘専門家として以下の方々をお招きして、地域科学技術クラスター連携施策群の推進に加え、各府省、地方公共団体、独立行政法人などが推進する地域科学技術施策全体を俯瞰しながら、地域イノベーションの創出を強力に推進するための戦略、提言の検討・取りまとめを行います。また、各府省の課室長には、必要に応じてオブザーバー参加をお願いします。

山崎 朗	中央大学大学院経済学研究科教授
古川 勇二	東京農工大学大学院技術経営研究科長、教授
石倉 洋子	一橋大学大学院国際企業戦略研究科教授
大西 隆	東京大学先端科学技術研究センター教授
渡部 俊也	東京大学国際・産学共同研究センター長、教授
塚本 芳昭	財団法人バイオインダストリー協会専務理事
秋山 昌之	長野県全域「信州型スーパークラスター」技術顧問

2. PTの支援体制

連携施策群の推進のため、PTの方針に基づき、コーディネータのもとで、連携施策群に係る会合、打合せ、勉強会等を開催します。構成メンバーは、清水コーディネータ、関係府省の実務者、及びその他必要とする者とします。

3. PTの開催スケジュール(イメージ)

(1) 第2回PT(H19年10月25日)

議事次第(資料1-1)のとおり。

※クラスターフォーラム開催(H19年11月28日、主催:文科省・経産省、共催:内閣府)

(2) 第3回PT(来年1月頃)

- ① ケーススタディ(地域における機関間連携のモデル的事例)
- ② 地域科学技術施策の政府予算案のとりまとめ
- ③ 討議

(3) 第4回PT(来年3月頃)

※平成20年度以降も、継続して開催

- ① 連携施策群の成果とりまとめ
- ② 地域イノベーションの創出に向けた地域科学技術施策の連携強化のあり方(中間とりまとめ)

(大学・研究機関・高専・企業・自治体の役割、地域のイニシアティブ、優秀な人材や多様な人材、人材の流動性、産学官連携、人的ネットワーク、コーディネート機能、シームレスな施策連携、国際的な連携、地域の特色など)